

核兵器ってどう思う？ みんなの声をリサーチ。



PEACE
RESEARCH

学生平和意識調査



2023 年度調査結果

1994 年から開始した「学生平和意識調査」。広島市で開催された「94 年アジア競技大会」を前に、アジア留学生へ平和調査をおこなったことがきっかけでした。以来、日本人学生へ、中国地方全体へと広げ、被爆 78 年を迎えた 2023 年で第 28 回目を数えました。

調査日：2023 年 8 月 6 日～9 月 17 日／対象者：日本全国 403 の高等教育機関（専門・短大・大学・大学院及びそれに類する学校）に通う学生／方法：対面とインターネット入力方式／回答数：2533 件（内訳：男性 58%、女性 40%、無回答 2%／広島出身もしくは広島在住の回答 111 件）

Q1-1

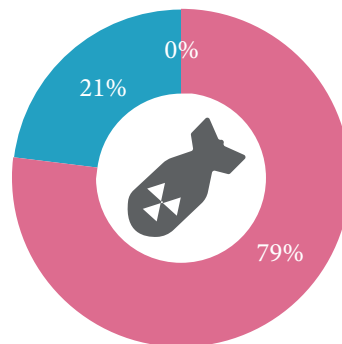
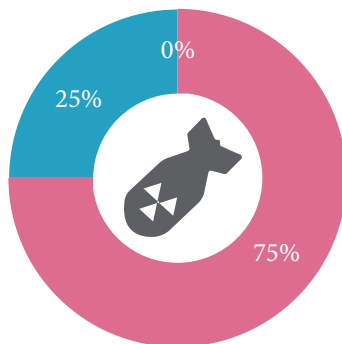
広島に原爆が投下された日はいつですか

正答：1945 年 8 月 6 日

全体

広島出身もしくは広島在住

■ 正答 ■ 誤答 ■ 無回答

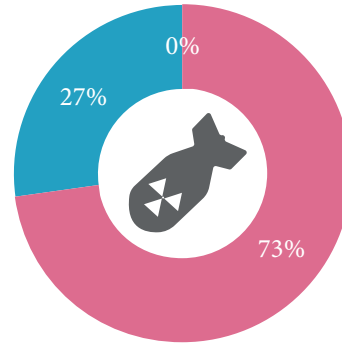


Q1-2

長崎に原爆が投下された日はいつですか

正答：1945年8月9日

■正答 ■誤答 ■無回答

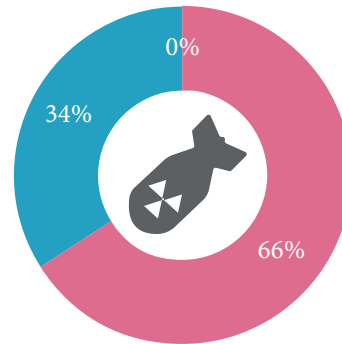


Q1-3

終戦記念日はいつですか

正答：1945年8月15日

■正答 ■誤答 ■無回答



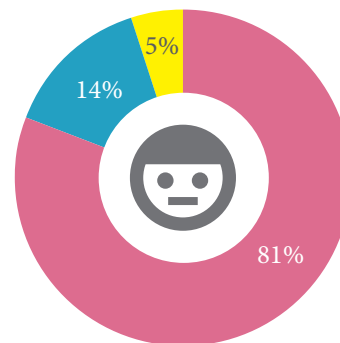
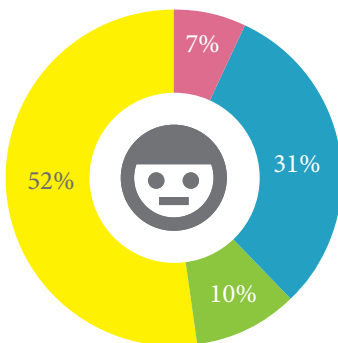
Q2

あなたは広島や長崎の原爆資料館や死没者祈念館などの施設を訪れたことはありますか

全体

広島出身もしくは広島在住

■両方ある ■広島だけある ■長崎だけある ■両方ともない



48%の学生が施設を訪れた事があり、「広島のみ」の訪問は3割程度でした。「広島出身もしくは広島在住者」の95%の学生が資料館等の施設を訪れたことがあり、全体の水準より高いことが分かりました。今後は、遠方においても資料館を見学できる工夫が大事だと思います。

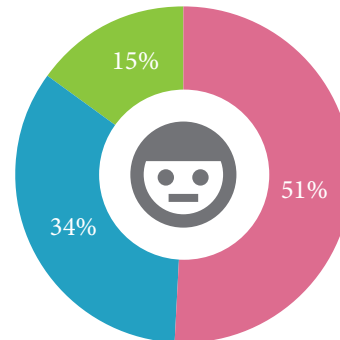
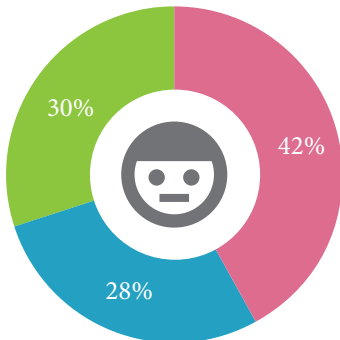
Q3

あなたは被爆体験を聞いたことがありますか

全体

広島出身もしくは広島在住

■ ある（内容を記憶している） ■ あるがあまり記憶していない ■ ない



「ある」「あるがあまり記憶にない」を合わせると70%の学生が被爆体験を聞いた経験があるという結果に。広島出身もしくは広島在住者では、85%の学生が被爆体験を聞いた経験があり、昨年より12%増えました。

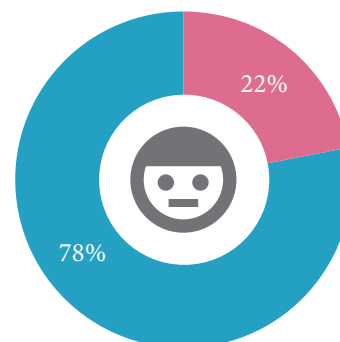
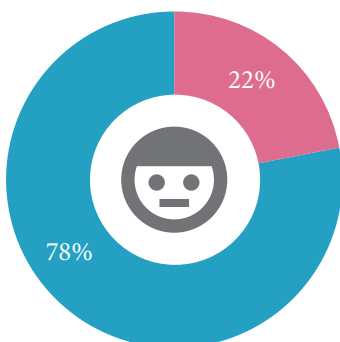
Q4

あなたは「グローバル・ヒバクシャ」について知っていますか

全体

広島出身もしくは広島在住

■ 知っている ■ 知らない

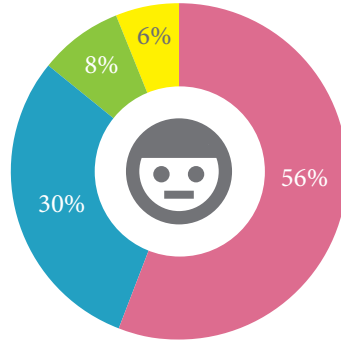


新しく加えた設問です。回答は約2割にとどまりました。平和教育が進んでいる被爆地から「グローバル・ヒバクシャ」について積極的に学ぶ機会を作っていく必要があると感じます。

Q5

日常生活において「核兵器」について考える機会がありますか

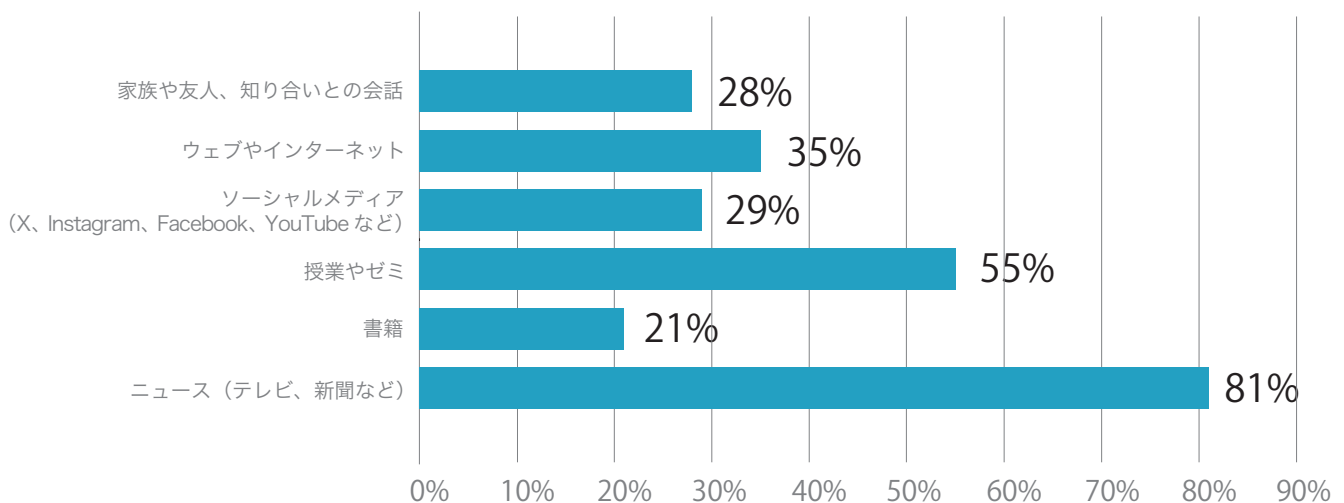
■ 頻繁に考える ■ たまに考える ■ ほとんどない ■ まったくない



「頻繁に考える」「たまに考える」と回答した学生は6割を超え、日本全体の過半数以上の学生が核兵器について日常的に考える機会があるという結果となりました。

Q6

「核兵器」について情報を収集するきっかけとなったものをお選びください
(複数回答可)

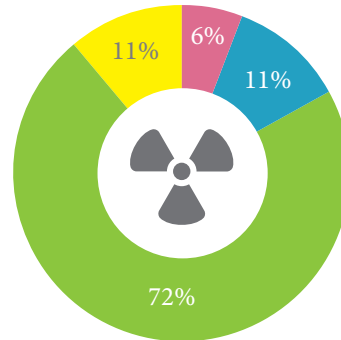


「家族や友人、知り合いとの会話」との回答も多く、G7広島サミットが開催されたこともきっかけになったのではないかと考えられます。

Q7

あなたは「核兵器」の存在についてどのように考えますか

- 戦争や紛争を防ぐために必要だ
- 自国や同盟国の安全保障のために必要だ
- いかなる場合も不要だ
- わからない

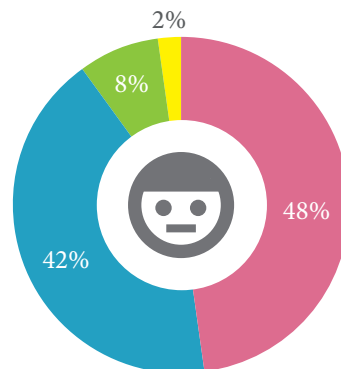


いかなる場合も不要と回答した学生が72%という結果に。長引くウクライナ危機や緊迫する中東情勢で、核使用のリスクが高まっていることが影響していると考えられます。

Q8

「核兵器」がもたらす壊滅的で非人道的な結果について知っていますか

- よく知っている
- だいたい知っている
- あまり知らない
- まったく知らない

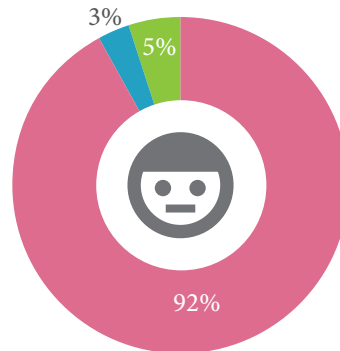


「よく知っている」と回答した学生が48%。「だいたい知っている」と回答した学生が42%で9割の学生が、核兵器の使用について非人道的である点を認識していることがわかります。

Q9

現在起こっている、またはこれから起こりうる戦争・紛争において「核兵器」が使用されてもやむをえないと思いますか

- あってはならない
- やむを得ない
- わからない

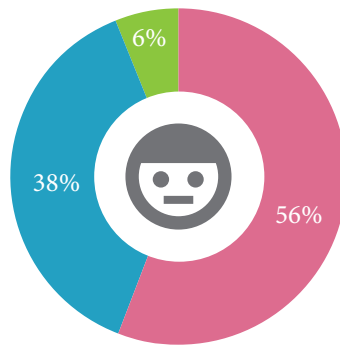


「あってはならない」と回答した学生が92%もいたことは希望です。

Q10

「核兵器禁止条約」について知っていますか

- 知っている
- 名称は聞いたことがある
- 知らない

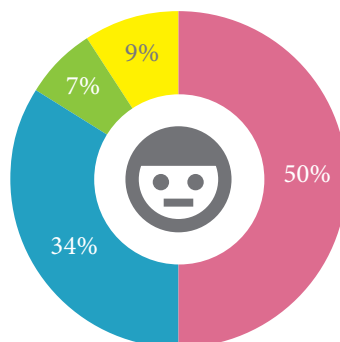


「知っている」と回答した学生が56%となり、「名称は聞いたことがある」との回答は30%。昨年と比べると「知っている」と回答した学生は10%減っており、「核兵器禁止条約」の認知度を高めていく必要があると感じます。

Q10-1

(前問 Q10 で「知っている」と回答した方)
日本は「核兵器禁止条約」に批准していない国の一つですが日本は批准をすべきだと思いますか

- 批准すべき
- すべきだがすぐには難しい
- 批准すべきではない
- わからない

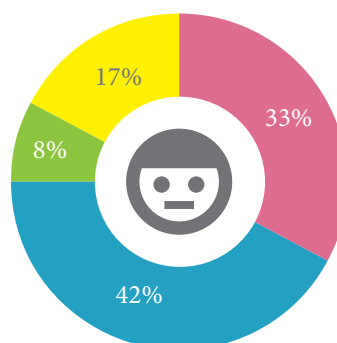


8割以上の学生が批准を望んでいることが分かりました。

Q11

「核兵器」の廃絶は可能だと思いますか

- 廃絶は可能
- 廃絶は不可能だが核軍縮は可能
- 核軍縮すら不可能
- わからない

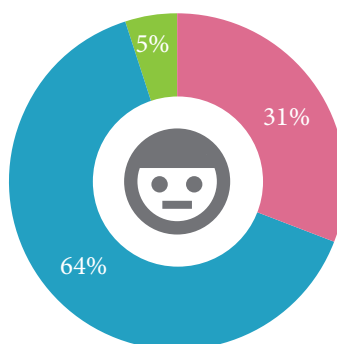


昨年から「廃絶は可能」と回答した割合は約10%下がりました。

Q12

あなたは平和のために何か行動をしていますか

- している
- したいと思うがしていない
- しても意味がない



「している」と回答した約6割の人が、「家族や友人、知り合いと平和について語りあう」と回答。一方で「したいと思うがしていない」「しても意味がない」と答えた多くは「方法がわからない」「一人の力には限界があるから」と。昨年度の結果から大きな変化はなく、学生の興味を引くような平和運動のあり方を考えていく必要性があると思います。